

申 立 人 別 事 情 聴 取 結 果

別 表

申立人氏名	申立人A	申立人B	申立人C	申立人D	申立人E
契約時年齢	45歳	23歳	23歳	23歳	32歳
契約年月日	平成14年 1月	平成13年 7月	平成12年 4月	平成14年 1月	平成12年 5月
会員権価格	入会金価格 1,365,000円 (消費税65,000円を含む)	入会金価格 1,365,000円 (消費税65,000円を含む)	入会金価格 1,365,000円 (消費税65,000円を含む)	入会金価格 1,365,000円 (消費税65,000円を含む)	入会金価格 1,365,000円 (消費税65,000円を含む)
信用供与の区分及び金額	金銭消費貸借契約(ローン) 借入額 860,000円 返済総額 1,007,748円	立替払契約(クレジット) 立替払 1,300,000円 分割払総額 1,651,000円	立替払契約(クレジット) 立替払額 1,300,000円 分割払総額 1,768,000円	金銭消費貸借契約(ローン) 借入額 1,330,000円 返済総額 2,480,849円	金銭消費貸借契約(ローン) 借入額 1,330,000円(当初) 返済総額 2,617,174円
信販会社・貸金会社等	貸金会社(子会社)	信販会社	信販会社	貸金会社(子会社)	貸金会社(子会社)
既払金	頭金 505,000円 ローン 0円	申込金 65,000円 クレジット 116,000円	申込金 65,000円 クレジット 652,800円	頭金 0円 解約・和解金 300,000円	頭金 35,000円 ローン 922,765円
派生した他の借入	銀行系消費者金融 500,000円(元金)		消費者金融 100,000円(元金)	消費者金融 300,000円(元金)	銀行系消費者金融 500,000円(元金)
会員権等の利用状況	利用していない。	宿泊施設を1回利用(説明と違って予約もとってくれず、無料と言われたサービスも有料)	契約時に勤められ、無料にしてもらったイベント(パーティ)に1回参加	利用していない。	利用していない。
最初の電話の勧誘から出向いて契約に至るまで	・平成14.1 22歳という男性から電話、「レジャーの会社、普段はどうしているか」など世間話のあと、担当と代わると言い、主任という女性が出て、「あなたが決まれば男性は最初の契約になる、男性を傷つけない」などと、説明を聞きにくるように言った。返事をしないと電話を切ってくれず、2時間近く粘られ、「明日、断りに行く」と切った。 ・平成14.1 11時に営業所に電話を断りに行く。11時から19時30分まで、食事抜きで4人位の説明を入れ替り立ち替り受けた。帰ろうとすると引き止められる感じで、「帰る」と強く言えず、契約に至る。(電話の男性は出てこなかった。)	・平成13.6 自宅へ女性から電話、「旅行等に興味があるか?」などと質問され、20~30分話す。「一度会って話をさせてほしい、近くまで行くから」と言われたが断った。その後も同じ内容の電話が何回もかかってきたが、断った。 ・今度は携帯電話にかかってくるようになった。番号も教えていないのにと不思議だった。 ・電話を断わり続けたが、それでもなれなれしく、仕事や休憩時間中など関係なくかかってくるため、このままでは仕事に支障を来すと思い、行って断ろうと、アポをとった。 ・平成13.7 15時に担当者待ち合せのち営業所へ執拗な電話を断りに行く。午後22時まで説明を受け、契約に至る。	・平成12.4 自宅へ女性から19時頃電話があり、同じ年齢だという。旅行が安く行ける、イベントもある、1~2時間で終わるから、話を聞きにきてほしいと言われた。話を聞いてみてもいいと思った。 ・平成12.4 電話の翌日20時頃、営業所に話を聞きに行った。話が長く、電話では1~2時間と言ったのに、4時間位かかって説明を受けた。 ・平成12.4 再度営業所に行き、契約した。	・平成14.1 携帯電話に何回か電話があったが、非通知設定なので無視していた。 ・平成14.1 今度は番号入りで電話をかけてきたので、仕事が休みの日に折り返しかけてみた。しつこいからかけるのをやめると言おうと思った面もある。女性から「独身ですよ。私はあなたと同じ年齢。会社はイベントをやっている。一度会って、パンフレットを見せて、説明したい。今度の休みの日はどうか」と言われ、日時、会う場所を約束した。 ・平成14.1 18時過ぎに近くの駅で待ち合わせ、タクシーでファミリーレストランへ行き、食事をしながら、途中から男性社員も加わって、2人から21時30分過ぎまで説明を受け、契約した。	・平成12.5 自宅へ女性から突然電話あり。社名を名乗り、旅行・リゾート施設・イベント関係の会社であると言って趣味・年齢などを聞かれた。独身の人を中心に電話している、出会うの機会はあるかという。売込みと察しはついたが、話をきくだけでもいい、会社へ来てほしいと言われ、面倒なので、次の機会にすると断ったが、「会員数に限りがある、今回選ばれたが次は無い」と言われ、電話も1時間以上と長くなり、根負けして行く約束をした。 ・平成12.5 営業所へ15時に車で行く。キーを預け、20時過ぎまで勧誘を受け、契約。
説明の内容及び契約を結ぶ時の状況	・リゾート施設等のパンフを見せて「全部当社の物件である、会員向けのイベントもある」「私に言えば予約が取れる」と説明され、興味はあったが支払能力がないと言って断った。 ・断り続けたが、「とりあえず仮の申込書を書いて」と言われて、浪費生活を立て直せると思い込んだ。 ・入会申込書を書いたとき、これは本契約の用紙ではないかと思ったが、言えなかった。 ・支払条件の話になったとき、多重債務になっていることを話した。 ・別の社員からは、「クーリング・オフは、自分から営業所へ出向いてきた人には効力がない」「途中で投げ出したら、一括で全額を払ってもらおう」と言われ、解約はできないと思った。 ・11時から19時30分まで、茶菓は出たが食事抜き、へとへとでボーとしていた。	・旅行等に関するアンケートをとられたのち、「当社の会員権はアフターフォローも万全、1年中予約が電話でとれる、旅行プランや希望する計画もつくる、パーティ等のイベントもある、子や孫の代にも使える」との説明。予約がすぐ取れることには興味があったがクレジットでの支払いと聞き、断ろうと思った。 ・夜7時に人に会う約束があり、時間なので帰ると告げると、「電話で遅れると言えばいい、とにかく入会を。会員権は使ってみないと分からない。特に不満がないなら契約しようよ。ガンバロー。」と言う。何度帰るといっても帰らせず、同じ話の繰り返しになり「ガンバロー」の一点張り。契約しないと帰れないと感じた。 ・19時を過ぎて、あきらめた。4時間も説明をうけ、頭ももうろうとしどうでもいいという気持ちになった。営業所を出たのは22時。 ・会員権の金額をはっきり言わず、話次第で引けるような感じだった。 ・契約は後日と言われ、来社の証と言って申込書にサインを求められ書いた。	・話の内容は、クラブのことやイベント・旅行が安く利用できるということ。世間話でなごんでから契約の話になった。 ・金額の話は出ず、女性と出会うしパーティもある、会員権を持っているのは素晴らしいことなど、いいことばかりの説明。親孝行の話も出され、「親に楽をさせてあげたら親も喜ぶ、あなたも趣味や友達が増える」等言われた。 ・男性の担当社員が出てきて、支払方法の説明があり、疑問や不安があったが、「信販とのトラブルは当社が入っているので安心」と言われた。 ・もう一度考えさせてと言って帰った。 ・契約してもいいと考え、後日出向いたとき、金額の話になって高いと思った。金がないと言ってあったのに、「他の会員もこれを目標に働いている人もいる。がんばれば大丈夫だよ。」と言われ、入会申込書を書いた。	・最初に雑談で仕事やレジャーのことを聞かれた。パートで働いていると話した。 ・パンフレットを見せて、レジャー施設が安く使えることや様々の合コンのようなイベントがあり参加できる、結婚した人もいるという。会員権という話はなかった。(パンフレットをくれるかと思ったが渡されず、その後ももらっていない。) ・話に乗るとまズいという気もあったが、イベントが楽しそうだったので、契約してみようと思った。 ・会員になるための金額を言われたのは最後。恐ろしい金額だった。契約はできないと思ったが、無理だとか、いやだとか、言いにくかった。何となく契約まで持っていかれてしまったという感じ。	・担当社員から販売会社のサービスや施設紹介パンフレットを見せられ、旅行の特典の他凡山のイベントを企画している、女性を含め出会いがある等の説明を受けた。 ・「月々少ない金額で会員になれる」「権利は永久的で30万円払えば子供等に引き継ぐ」と言われた。 ・サインの段になって、無理だと考え、帰ってよく考え相談したいと断ると、「自分の意思で利用してみたいと言ったではないか」と言われ、困った。2時過ぎまで、同じ話を繰り返され、空腹と疲れて根負けして契約。 ・契約から6日間考え続け、当時の収支から無理と判断、断る決心をした。クーリング・オフ期間だった。 ・平成12.5 仕事帰りの夜7時30分過ぎに営業所へ行き、担当社員の上司に、契約を止めると伝えると、もう一人の男性社員も加わり、気持ちが変わるのはおかし、サインしたものを覆すのはおかしと言い、前回と同じ話を繰り返され、夜中の1時近くになり、かなり疲れて、断っても認められず、説得され、解約は無理なのだとおきらめた。

申立人氏名	申立人 A	申立人 B	申立人 C	申立人 D	申立人 E
クレジット等の契約及び支払い等の経緯、センターへ相談するまで	<p>・平成 14.1 支払明細作成にあたって、多重債務になっていることを話した。利用予定信販会社が貸金会社に変更になった。</p> <p>・平成 14.1 販売会社の本社に行き、貸金会社の面接を受けた。この時、実印を持参するよう言われたが、無理と伝え、頭金として 165,000 円入れるようにという。頭金を調達することになった。最初、頭金は消費税分 65,000 円と言われていたが、(以上の経緯から) 50 万円を入れたほうが良いと言われた。</p> <p>・銀行系消費者金融利用の話になり、2 社のうち片方が審査が簡単だと勧められた。</p> <p>・社員が電話でできる銀行系消費者金融の審査手続きを行い、通った。次いで、別の銀行系消費者金融のフリーダイヤルへの審査手続きをしたら、これも通り、すごいと言われた。</p> <p>・平成 14.1 販売会社の社員が同行して、コンビニへ行き銀行系消費者金融から 10 万円ずつ 5 回、計 50 万円を引出した。</p> <p>・平成 14.1 手持金と併せて 50 万 5 千円を、消費税を含む頭金として社員に渡し、領収書を受け取り、当初作成した購入入金支払明細の頭金を 65,000 円から 505,000 円に訂正し、それに従い支払条件も変更になった。</p> <p>・平成 14.1 貸金会社のレジャーローン申込書を書き、年会費引落しのための口座振替依頼書を書く。</p> <p>・平成 14.1 貸金会社から電話が入り「支払できなくなったり、引落しができないときは法的な手続きをとる、公正証書等で対応する」と言われた。</p> <p>・平成 14.1 この契約や多重債務が親に知られるところとなり、センターへ相談した。</p>	<p>・平成 13.7 販売会社の本社から契約確認の電話があった。確認終了後、解約できるか聞いたら、「今日から 8 日以内ならできる」との答えだった。</p> <p>・8 日以内に、クーリング・オフの電話をしたが、担当社員不在で申出ることができなかった。</p> <p>・平成 13.7 ローンの数や支払額を決めるために、担当社員と会った。月々の額を増やすか頭金を多くすると金利が減ると言われたが変えなかった。</p> <p>・平成 13.8 担当社員と会い、信販の契約書を書くとき、不安だったのでクーリング・オフを口にしたら、もう過ぎたからできないと言われた。信販の契約書の控えは渡されず、クレジット総額は知らず。後で信販から明細書が届くとのこと。そんなものかと思った。(クレジット利用は初めて)</p> <p>・クレジットをいやがること、「信販から本人には電話は行かない、当社を通して行う。クレジットのトラブルがあっても当社で処理する」と言った。</p> <p>・信販会社からの確認は、携帯電話にあった。</p> <p>・消費税分を頭金として年会費 48,000 円とあわせ計 113,000 円を欲しいと言われ無理と答えたら、頭金だけでも言うので了解し、8 月中旬頃、営業所に行き、65,000 円位を現金で支払った。担当不在で別の人に渡したが領収書はもらわず。</p> <p>・送られてくるかと思った領収書は届かず、担当社員に何度も電話したが不在などと言われ話せず。そのうちに担当社員は辞めてしまった。</p> <p>・クレジットの支払条件については、契約時の明細と相違し、会員権販売会社と信販会社と交渉したが双方とも信販会社へ、販売会社へと言って対応をせず。</p> <p>・信販から届いた支払明細書がクレジットの契約書だと、センターへ相談するまで思っていた。相談後、信販控えを自分で信販会社に要求し入手した。</p> <p>・本年 1 月失職し支払い困難になり、センターへ相談した。</p> <p>[施設利用について]</p> <p>・平成 13.11 友人と旅行に行くため、担当社員に旅行のプランを立ててと電話した。担当社員は「宿泊の施設はとれるが、私にはできない、聞いてみるから 2 日位待ってくれ。観光会社じゃないからプランは立てられない、自分で地元の観光協会に電話してくれ」と言う。企画もすると言ったではないかという、「探しておく」と言って一方的に電話を切られ、2 週間位連絡がなく、問い合わせたら、「会員ですと言って予約センターに自分でかけてくれ」と言った。</p> <p>・実際の利用時、無料と言われていたサービスが有料のものがあった。</p>	<p>・平成 12.4 契約にあたって、頭金の話になり、お金がないことを言ったら、副担当社員が「今の若い人は多少は借金があるものだ、僕もある」と、自分のカードを見せ、「近くに消費者金融があるから 10 万円の枠で借りてきて、頭金を払えばいい」と言った。</p> <p>・お金があるときに入会するのではだめかと聞いたら、「今入会しないと、後では入会できなくなる」と言われた。</p> <p>・消費者金融までお金を借りにいき、10 万円を借りた。サラ金を利用するのは初めてだった。その中から 65,000 円を支払った。</p> <p>・クレジット申込書の中に親の名前を書く欄があり、不安だったので、親に連絡は行かないと言われて安心した。</p> <p>・信販会社の確認は自宅の電話へあった。(当時は一人暮らし)</p> <p>・1 年くらい、必死で支払った。レジャーどころではなかった。お金がないのに入会したことを後悔、解約の話をしに行ったところ、解約料がかかると言われ、そのままになった。</p> <p>・アルバイト先を失業し生活が苦しくなり、消費者金融のカードを持っていたことから次第に借金も増え、借金の支払のために他社 2 社から借金、借金だけで 100 万円を超えた。</p> <p>・平成 14.2 自分の生活を大事にすること、会員にならなくても親孝行をできることに気付いて、自分の生活を取り戻すためにセンターに相談した。</p>	<p>・契約確認の電話が男性社員から携帯に入り、クーリング・オフで解約はできるとの説明もあった。解約したいとは言わなかった。</p> <p>・平成 14.2 担当社員からおしゃべりしようと言われ喫茶店で個人的な話をした。最初に貸金会社へ行く話が出た。通帳と印鑑を持ってきてと言われたが、無理と答えた。</p> <p>・平成 14.2 印鑑を持って貸金会社に行ってもほしいと担当社員に言われ、駅で待ち合わせ、まず、営業所へ行った。担当社員の上司の男性から「貸金会社へ行ったら、金は払うと、自信を持って言うように」と言われた。</p> <p>・担当社員と一緒に本社内の貸金会社へ行き、金銭消費貸借契約申込書を書いた。</p> <p>・貸金会社の男性社員と 1 対 1 で面接を受けた。何回もつこく「金はちゃんと払うか」と聞かれたので、ちょっと無理ですと答えた。</p> <p>「払えないのか。それじゃ何で契約したの。」と先方は怒っていた。</p> <p>・その人の上司が出てきて、「2 月末までに 30 万円払えばローンを解約できる。3 月になると解約はできない。240 万円全額の支払いになる。どちらにするか」と言われた。(30 万円払うしかないと思った。) お金はないが、解約にしてくださいと頼んだ。お金を借りる店がわからず、貸金会社の人、消費者金融、銀行系消費者金融などでの借金のしかたを教えてください。</p> <p>・平成 14.2 仕事が休みの日、1 人で消費者金融へ行き借金。50 万円まで OK となり、その場でカードが発行され、30 万円を引き出す。</p> <p>・平成 14.2 貸金会社へ 30 万円を持参。ローンの解約・和解金として領収書もらった。他の書類も返してもらった。</p> <p>・平成 14.2 契約時に払っていないローンの頭金を請求されたが、お金がないし、親にも言えないから、勤務先の人に借りようと思って、話した。勤務先の人、「変だから書類を持ってくるように」と言うので、翌日書類を見せたところ、上司に相談し、騙されたのではないかとこたえた。</p> <p>・上司が父親に電話、親の知るところとなり、親と共に法律相談に行き、紹介されてセンターへ相談。</p>	<p>・平成 12.5 担当社員の案内で貸金会社へ出向き、ローン申込書に記入。3 年後と 5 年後にボーナス月と月々の返済額が変動して増えることがこの時に分かった。販売会社との契約のときには無い話だったが、どうしようもないと思った。</p> <p>・「支払が 1 回でも遅れると、別の機関(会社)に取り立てを依頼することになるので、怖い人が来ることになるから注意して」と釘を刺された。</p> <p>・「入会後に無料でイベント招待」と説明されていたが連絡がなく、担当社員やその上司とも何度も連絡をとってみただけで、その後担当社員は退職したと言われ、不信に思いながら待ったが、何の連絡もなし。</p> <p>・支払は非常につまらなかったが、必死で払った。</p> <p>・平成 13.10 下旬 貸金会社の人から電話があり、「支払が順調な人だけへの特別な話、50 万円用意できれば残金の利息を下げられる、11 月中限定」と言われた。後日返事をすると答えた。</p> <p>・平成 13.11 中旬 再度貸金会社の人から電話があったので 50 万円は用意できないと答えると、「銀行系の消費者金融から借りられる可能性があるから、銀行に問い合わせてみたらいい。返金のためと言うと貸してくれないから、旅行をするとか言えばいい。特別な人へのお知らせで、11 月中だけで組替えキャンペーンは終わる」と言われた。</p> <p>・変な話だとは思ったが、途中で返済額が増えないローンに変わるのには得だと考えた。</p> <p>・平成 13.11 急いで銀行系消費者金融から 50 万円を借りて貸金会社へ支払い、ローンの組替えをした。結果、返済期間は短縮されたが、2 本立ての支払いとなり月々の返済額は 1,600 円アップした。</p> <p>・それでも何とか支払いを続けてきたが、不景気の影響をもちに受け、給料は減額され、ローンの返済が非常に困難になった。</p> <p>・担当者は辞め、後任も誰か不明、イベントの勧めもなく、ローンがあるので施設利用の余裕もない、権利の譲渡も説明されたようには書いてないし、会費が未納になると会員でなくなるというのでは、永久会員の話と一致しない。不審な点が多く、支払いも困難なので解約を考え、センターへ相談した。</p>
希望する解決の内容	無理にさせられた契約であり、支払いも大変なので、適正な条件で解約したい。できれば 50 万円は返して欲しい。	契約時の説明と 90%位違うし、失職して支払いも大変なので、解約金ゼロ(追加払いなし)での解約を望む。	今から思うと騙されて契約したと思う。アルバイトもやめ、支払い困難、旅行やイベントどころではない。既払金全部でなくてもいいから返金してほしいが、せめて解約金ゼロ(追加払いなし)での解約を望む。	契約から解約まで、理解できないままのうちに支払われた 30 万円の全額返金。	不審な点が多く、解約したい。返済も困難。銀行系消費者金融の支払いをなくしたいから、50 万円を返金して欲しい。